

都市再生整備計画(第3回変更)

あんじょうほくとう
安城北東地区

愛知県 あんじょうし
安城市

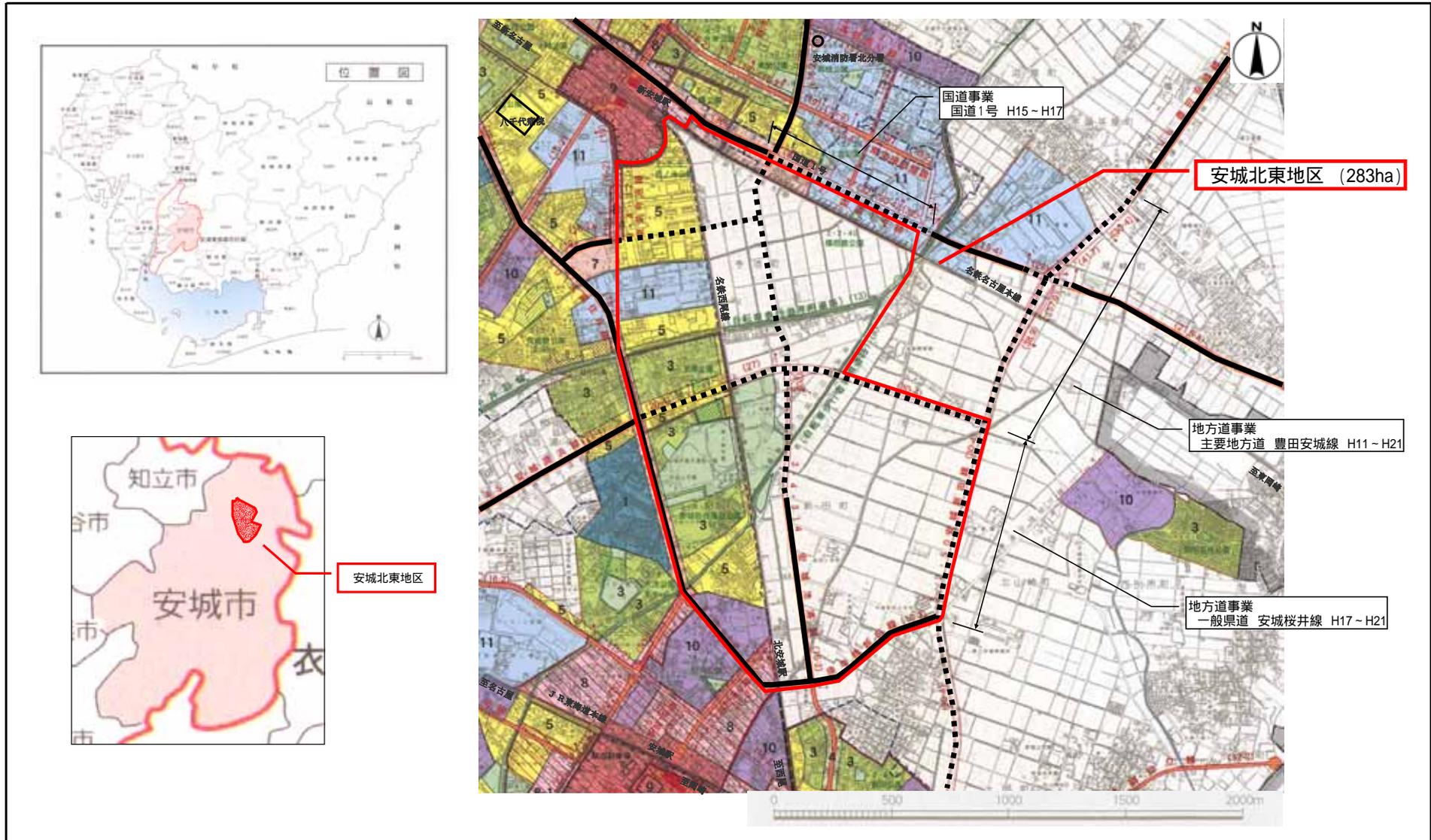
平成22年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道立体交差等を含めた道路等の整備改善により交通ネックを解消し、救急、防災施設等へのアクセス性を向上させる。 	道路(基幹事業) 事業活用調査(提案事業/災害対策避難路計画業務)
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に、総合運動公園一体を災害対策拠点及び支援物資集積拠点として整備し、防災空間としての基盤整備を推進する。 	高次都市施設(基幹事業/(仮称)北部交流センター) 地域生活基盤施設(基幹事業/防災備蓄倉庫、(仮称)北部交流センター関連事業) 地域創造支援事業(提案事業/地区災害対策拠点及び物資集積拠点計画業務)
<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画に添う各施設を整備促進し、合わせて、住民の防災意識を高め、自主防災力の向上を目指す。 	地域生活基盤施設(基幹事業/(仮称)北部交流センター関連事業) 地域創造支援事業(提案事業/地区災害対策拠点及び物資集積拠点計画業務) まちづくり活動推進事業(提案事業/防災意識啓発活動)
<p>その他</p> <p><地区の特性は、…> 本地域は名鉄新安城駅とJR安城駅間に位置していることから、居住ニーズに対応した多様な居住空間を形成するとともに、職住近接及びレクリエーション機能を合わせ持つ複合型市街地としての役割を果たすことが期待されている。また、特にJR安城駅や名鉄新安城駅周辺を中心に形成されている中心商業地は、本市の核として位置づけており、土地利用の高度化、商業機能の活性化が図られるため、災害時に対応できる防災施設等の整備が不可欠である。</p> <p><実現するためのしなげは、…> 安城市地域防災計画に基づく災害対策拠点を各地域ごとに計画・立案し、公表することにより、市民の防災意識を高め、防災施設等に係る公共施設の整備促進に理解と協力を得る。</p> <p><実践しているソフトウェアは、…> 現在、市内の町内会すべてに自主防災組織が形成され、自主防災訓練、地域防災マップの作成など、地域の防災体制の充実に努めており、さらなる活性化を図るため、防災リーダーの育成など各種支援を実施している。自主防災組織の活動は、警戒宣言が発せられた場合における地震予知情報の正確な伝達、混乱の発生防止等についても大きな役割を果たすものと考えられる。 また、本地区においては、名鉄名古屋本線および名鉄西尾線の踏切や国道1号の交差に関する施策の検討や、住民が安全に安心して暮せる交通環境施策について検討する「北部地域交通問題検討会」を地元住民、企業、関係者にて組織・運営しており、北部地域の交通渋滞の緩和と交通安全の向上に資する施策を提言している。</p> <p><事業期間終了後は、> 本市は人口の増加に加え、市街地未整備地域における無秩序な土地利用の変化からビル・マンション等の高層化、住宅の団地化や密集による都市化などが進んだことから、災害時における被災人口の増大と火災の多発、延焼地域の拡大の危険性を高めてきている。 このような社会的条件の変化は、地震による被害が拡大されるだけでなく、被害の様相も多様化し、同時複合的な現れ方をするものと考えられるが、現状ではこうした新しい災害要因への対応が、決して満足すべき状態であるとはいえない。したがって、地震災害を最小限に食い止めるためには、こうした条件変化に防災対策が適応できる設備を各地域で配備していくと同時に、防災意識の普及活動及び自主防災組織の育成等を不断に続けていく。</p>	

都市再生整備計画の区域

あんじょうほくとうちく あいちけんあんじょうし 安城北東地区(愛知県安城市)	面積 283 ha	区域 とうらいちやう いまけちやう いけうちやう しんでんちやう きたやまがきちやう べんでんちやう 東栄町、今池町、池浦町、新田町、北山崎町、弁天町の一部
---	-----------	---



安城北東地区(愛知県安城市) 整備方針概要図

目標	東海地震に係る地震防災対策強化地域における防災拠点の創出	代表的な指標	緊急車両到着時間 (分)	9.8	(17年度)	→	8.2	(22年度)
			要援護者避難援助数 (人)	995	(17年度)	→	1650	(22年度)
			防災(地震)満足度 (%)	32.6	(15年度)	→	40.0	(22年度)

